

平成31年度 九州地方整備局 i-Construction アクションプラン(案)

i-Construction 行動方針	取り組みメニュー	行動目標
<p>① 3次元測量、ICT施工など最新技術を学べる場をつくりま す。</p> <p>～講習会、実機体験会の開催～</p>	<p>方針① に対する取り組み（講習会、実機体験会の開催）</p> <p>①-1 職員、施工者、自治体職員、教育機関を対象に、講習会（実機体験を含む）および現場見学会の開催。</p> <p>①-2 i-Constructionに関する新たな基準類等（「カイゼン」含む）の説明会を開催し周知。</p> <p>①-3 新技術・新工法説明会において、i-Constructionに関する最新情報を提供。</p> <p>①-4 i-Constructionの計画的な研修の実施。</p>	<p>講習会各県毎に各1回開催 現場見学会各事務所1回以上開催 測量・出来形管理に関する講習内容の充実 および好事例紹介 各業団体が実施する講習会の情報提供を実施</p> <p>各種会議にて周知</p> <p>各会場にて実施</p> <p>基礎技術講習会（土木施工演習）2回予定 監督検査研修 2回予定 i-Construction研修 1回予定 BIM/CIM研修 2回予定 ドローン講習会 4回予定</p>
<p>②技術活用のアイデアを産学官互いに磨き、ICT施工の自治体工事への普及をはかりま す。</p> <p>～意見交換会の開催～</p>	<p>方針② に対する取り組み（意見交換会の開催）</p> <p>②-1 県、政令市との既設会議を活用し、最新情報の提供及び意見交換を実施して、自治体工事への普及拡大を促し、状況をフォローアップする。</p> <p>②-2 各種業団体（建設業協会、建設青年会議、PC建協、コンサルタント協会等）との既設会議およびi-Construction大賞等の受賞者による、最新情報の提供及び意見交換を実施。</p> <p>②-3 産学官連携会議（ICT・標準化作業部会）を開催し、意見交換等を実施。</p> <p>②-4 ICT工事優秀施工業者表彰者による発表会を開催し、実施体験や好事例を広く紹介。</p>	<p>①土木部長等会議 2回 ②次長・技監会議 2回 ③発注者協議会（幹事会）2回 ④発注者協議会（県部会 各県1回） ⑤各種会議</p> <p>25回</p> <p>2回予定</p> <p>各県毎に各1回開催</p>
<p>③新しいやり方を試せる現場で建設業の魅力を発信しま す。</p> <p>～積極的な広報と持続的な改革のための「カイゼン」*実施～</p> <p>「カイゼン」* 作業の見直し活動のことで、作業効率の向上や安全性の確保などに関して、トップダウンで指示されるのではなく、現地実務者が中心となって知恵を出し合い、ボトムアップで問題解決をはかっていくことを指します。</p>	<p>方針③ に対する取り組み（積極的な広報と持続的な改革のための「カイゼン」*実施）</p> <p>③-1 各種会議等の開催にあたり、積極的に記者発表を行い最新情報を発信。</p> <p>③-2 現場見学会の開催にあたり、積極的に記者発表を行い現場をマスコミに公開する。</p> <p>③-3 現場支援型モデル事業を実施し、好事例の創出を支援。</p> <p>③-4 ICT活用現場の事例を収集し、ベストプラクティスを整理し情報発信。</p> <p>③-5 相談窓口寄せられた意見や工事現場のアンケートを収集、分析し、導入効果を広く周知するとともに、課題については解決策を関係者間で検討。</p> <p>③-6 3次元設計データを発注者から施工者へ提供の試行。 (3次元設計データ作成と2次元設計ストックの3次元化)</p>	<p>HP、Facebook等で紹介</p> <p>各県1事例以上</p> <p>1事例</p> <p>パネル展 事務所に貸出 HPで紹介</p> <p>年度末集約</p> <p>・大規模構造物の詳細設計は原則3次元設計 ・ICT施工に関連する詳細設計は原則3次元設計 ・2次元図面の3次元データは発注者準備に努める</p>
<p>④建設産業の働きやすさと安全・安心を向上しま す。</p> <p>～施工時期の平準化の実施と現場の安全性向上～</p>	<p>方針④ に対する取り組み（施工時期の平準化の実施と現場の安全性向上）</p> <p>④-1 計画的な発注の推進。（早期発注、国債・翌債の活用、工期末の分散化等）</p> <p>④-2 工事・業務の性格や地域条件等を踏まえた適切な工期設定。</p> <p>④-3 現場の安全性向上。</p>	<p>・工事：平準化率0.85以上 ・業務：3月納期40%以下</p> <p>・工事：週休2日対象工事の実施率向上 ・業務：業務スケジュール管理表（履行期間設定支援ツール含む）の活用</p> <p>・ICT活用工事での「建設機械との接触事故」ゼロを目指す ・安全対策の徹底</p>